



フェイスブックやインスタ、ツイッター。秋葉の魅力を発信しよう

#アキハスム

アキハスムプロジェクトは、新潟市秋葉区に、住んだ人と、住んでた人が、『住んでよかった』と言う、思うプロジェクト

検索

アキハスム

www.akihassumu.com





新潟市秋葉区にある素材（財産）をきっかけとし 「住む」からみえてくること、学ぶこと

里山、歴史、食、花、川、鉄道。この6つの魅力が秋葉区をつくっているという。

これらのキーワードをたよりに秋葉の地に触れていくと、「ほどよい環境」が育まれている、ということがわかる。6つの魅力自体は、他の地域にだって存在するものではあるけれど、人の暮らしにとって必要とされる当たり前の自然環境の全てが、ぎゅっと集まっているのが秋葉区だ。特に、心身の発達が進む幼少期と、経験豊かな老年期に、この自然環境はきっと必要とされる。

「秋葉区は愛着の持てる地域であって欲しい」という想いを聞くことがあった。

愛着っていいなと単純に思った。じっくりと向き合い育てていくような時間の長さを感じる。

地域を思うこと、道具を手入れしていくこと、食物を栽培すること、家を建てること、暮らすこと。「愛着」というものは短時間では育てられない。地域に「住む」という長い時間をかけて、何気ない「幸福感」を積み重ねていく。それを助けてくれるのが、ほどよい自然環境。

「幸福感」というのは、一概に数字で計れるものでも、地球上のすべての生き物で共有できるものでもないけれど、それぞれが思う「幸福」を創りあげる「環境」の土台はすでにある。

あとは、この地で暮らす人々がどんな考えを持って「住む」のか。6つの魅力は、暮らしをはじめ、よりよく積み重ねていくきっかけでしかない。

“幸福とは、自分らしく生きられること。住むとは、愛着を持てること。”

秋葉区には、暮らしに密接した自然環境と、長い時間軸でものごとを考えることができる土壌がある。今はわからない価値が、数年後に心身に染みってくる。

秋葉区の里山を中心とした自然環境は、そんな長い時間を、何も言わずただただ受け止めてくれる。